

CAST

阿部周平
椎木樹人
多田香織
竹内元一
松田裕太郎
松野尾亮
横山祐香里
石橋達也
田崎小春
早稲寛貴
山崎瑞穂

周辺地図



都城インターより



*** From 上田 誠**
(ヨーロッパ企画)
東京という場所の引力で東京以外の演劇人にとってはけこうさくでって、
彼らは京都で劇団をやっているんですが、調子いいときはいいんですけどバツとしないときや
へこたれたときには無茶から聴こえてくる取やがさについていって心をやられてしまいます。
そんな中、福岡の劇団ガラパ(ぼんとはもっと長い名前なんです)は、
足腰がしっかりしているのが東京まで僕らに思っているより遠いのが、
福岡で独自の進化を遂げて、ユニークな生態系をなし、
動員はいまや地元で1500人を呼ぶという、まさにガラパゴスを地で行く劇団です。
しかもガラパゴスを自ら名乗るという豪傑性もあります。
モノマネをふるとやってくるとという対応力もあります。
そんな彼らが、豊饒な舞台術と思惑な舞台と密生する通りもんに買まれたコメディを見せてくれます。
そんな彼らが、豊饒な舞台術と思惑な舞台と密生する通りもんに買まれたコメディを見せてくれます。
世界は多様性に満ちています。外タレをおまにいく気持ちでどうぞ！

*** From 栗月チヨビ**
(劇団飛騨)
彼らはいつも物置箱やかで、淡い色のカーディガンとか
アイロンちゃんとしたシャツとかを着こなすスマートな福岡の都市部の若者です。
地元で活動している精神的ゆとりもあって、福岡の田舎部の私からすると京都っぽいというが、
なんともおしゃやかな余裕を感じるのです。
だけど、あせりはないが虎視眈々と獲物を狙ってる牙も併せ持つ、なんとも油断ならぬ一面も。
作品も「たたしい人じゃなげせ」て、感じなんです。
おしゃやかな真面目に作られてるけどなんか狙ってる。うまく高えないけど多分見たら判ります。

万能グローブ
ガラパゴスダイナモス



05年旗揚げ。福岡を拠点に、年2回ペースの本公演を中心にフットワーク軽く活動する。
脚本・演出の川口大樹による「ある一定の状況下でもがく登場人物の葛藤やラストレ
ーションをあくまでポップに描き、笑いに昇華させたシチュエーションコメディ」で県内外
から高い評価を得ている。第12回公演「ガンナイ」がCoRich舞台芸術まつり2011春で
最優秀賞の10作品に選ばれた他、2012年にはロックバンド「Fandymori」の対バンライブを
成功させるなど全国から高い注目を集めている。第14回公演「崖際の夜になったら」では
動員1400名を突破。今九州でもっとも目が醒めない劇団である。

劇団サイト・<http://galapagos-dynamos.com>
お問い合わせ 090-7164-8807 (ガラパゴスダイナモス制作部)
Twitter公式アカウント・@galape_hun



【舞台監督】森田正憲(株式会社エフイーエス)【照明】太田謙之(有能会社 サム)【照明操作】藤井繪葉【音響】杉山聡(Dagobah Sound Lab)
【音響操作】大村朋子(Dagobah Sound Lab)【楽曲提供】andymori【舞台装置】中島徳和(兄弟船)【舞台美術】藤村希江(小道具)松田裕太郎、早稲寛貴
【衣装】石山龍太郎、高田悠華子【演出助手】松野尾亮【撮影】光田哲史(Tick Tack Movie)【舞台音楽】藤本悠(富伝美術)森録千恵子、田崎小春、多田香織、森録ひとみ
【WEB】谷口紗及梨、森録千恵子、山崎瑞穂【広報】松野尾亮、阿部周平、石橋達也、横山祐香里【制作】橋本理沙、石橋達也、ししはらみき、鶴田佳奈子
【協力】パブリックチャンネル、andymori、ヨーロッパ企画、劇団飛騨し、とくお館、劇団こぶく劇團【企画・製作】万能グローブガラパゴスダイナモス

2013
ガラパ年越しツアー

福岡公演 2013.11.6(水)-11.17(日)
ぼんプラザホール

東京公演 2013.12.5(木)-12.8(日)
こまばアゴラ劇場

宮崎公演 2014.1.11(土)-1.12(日)
三股町立文化会館

万能グローブガラパゴスダイナモス 第15回公演
ナイス・コントロール

作・演出 川口大樹

劇場で笑うこと
 どうも、劇団こぶく劇場の永山です。
 あんまり借りてもらえないかもしれないのですが、高校で演劇をはじめたから、喜劇が大好きで、小林信彦さんの「日本の喜劇人」「世界の喜劇人」は何度も読み直すくらい愛読書でした。大学で上京してからは藤山寛美さんの松竹新喜劇をよく観ていました。アメリカの喜劇作家ニールサイモンは、戯曲集が出るたびに買って読んでいました。佐藤8作さんの東京ボードビルショーや、都城出身の俳優・井之上隆志さんがいらっしやったカクスクも追いかけて観ていました。演劇をはじめた30年になりますが、劇場で、みんなで笑う、ということが、なんだかほんとに豊かなことなんだと、あらためて感じている今日この頃です。さて、そういうわけで、ガラバが宮崎に帰ってきます。そしてついにはわいわいのホームグラウンド、三股町にやってきます。劇場で、みんなで笑う、そのことの豊かさを、いまいちばん感じさせてくれる劇団です。どうぞ、みなさん、その日、なにはともあれ三股町立文化会館の座席にお座りください。最初の音が鳴って、それから、まっとワクワクする時間がはじまるはずですよ。さ、お早めにチケット予約を！
 永山晋行（劇団こぶく劇場/宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター）

つまるところ人生は、日々湧き起る様々な欲望について
 自分をコントロールできるか否かの連続なのかなと思います。
 理想のボディを手に入れたいのに、夜中にパスタとか茹でてしまう。
 完全な食欲のコントロールミスです。
 まだ大して関係深まってないのに、我慢できず告白して撃沈するコントロールミス、
 テストの前日に大掃除してしまうコントロールミス。
 僕は大体、ノーコンです。
 でも果たして、完璧なコントロールを身につければ幸せな人生なのか？
 みたいな事をお芝居にしてみたらどうかかなと思いました。
 そんなコメディで、福岡・東京・宮崎を渡り歩きます。
 よろしくです。

作・演出 川口大樹



お問い合わせ

三股町立文化会館 0986-51-3462
<http://www.town.mimata.lg.jp/bunha/>

三股町立文化会館自主文化事業  シーズン2013-14『豊穡文化の交差点-地域劇団を三股で繋ぐ-』
2014年1月11日(土)-1月12日(日) ◆全2回公演
 三股町立文化会館 宮崎県北諸県郡三股町大字禰山3404-2 TEL 0986-51-3462

📣 チケット (全席自由・未就学児入場不可)
 《一般》2,000円(当日 2,500円)
 《ペア》3,500円(前売のみ)
 《大学生以下》1,200円(当日同料金)
 ※日時指定
 ※託児サービスあり(無料・申込先:三股町立文化会館)

📣 チケット取扱 ◆一般発売:10月19日(土)
 ◆三股町立文化会館 0986-51-3462
<http://www.town.mimata.lg.jp/bunha/>
 ◆CoRichチケット! <https://ticket.corich.jp/apply/47888/>

宮崎公演
 1/11 土 12 日
 14:00 ———— ●
 19:00 ———— ●
 📣 アフターイベント!!
 1/11(土) 生コメントリー
 ガラバ名物のおまけ企画。DVDでお馴染みの「コメントリー」を生でやっちゃいます!
 1/12(日) ガラバトーク
 劇団こぶく劇場の永山さんとガラバメンバーでトークします!
 主催:三股町・三股町教育委員会/万能グローブ ガラバコスタイナモス
 ※開演は開演の30分前です。
 当日券は開演1時間前より劇場受付にて販売いたします。

福岡公演
 ほんプラザホールロングランシアター (公財)福岡市文化芸術創造局福岡支庁福岡支庁
 平成23年度福岡市文化芸術奨励賞
2013年11月6日(水)-11月17日(日) ◆全16回公演
 ほんプラザホール 福岡市博多区祇園町8-3 TEL 092-262-5027

東京公演
2013年12月5日(木)-12月8日(日) ◆全5回公演
 しまばアゴラ劇場 東京都目黒区駒場1-11-13 TEL 03-3467-2743



万能グローブ ガラバコスタイナモス 第15回公演
ナイス・コントロール
 作・演出 川口大樹